

事例 : No. 1

事例名 : 搭乗式大型草刈機を使用した刈払い作業の軽労化・効率化

1. 林業事業体等名 美幌町 (北海道網走郡美幌町)
2. 林業事業体の概要 (美幌町役場経済部耕地林務グループ森林担当・直営班)
- ① 育成する主な樹種 カラマツ・トドマツ
- ② 作業員数 3名
- ③ 主な作業内容 町有林の造成全般
(造林～素材生産、立木調査、林道維持管理、路網作設・維持管理)

3. 取組の特長

搭乗式大型草刈機（ブッシュカッター・ジョージ）を導入し、従来の刈払機での作業（地拵え、下刈り、路網草刈等）の軽労化・効率化を図っている。

機械の特徴として、操作レバー1本で走行と草刈りが可能で、作業資格（運転免許等）も必要ないことから誰でも作業を行える。

車体は縦・横方向それぞれ30度の傾きまで作業が可能であり、特に横方向では、運転席自動水平機構により安全・安心な作業が確保されている。刈り払いヘッド部分も車体右側へ50cmまでスライド可能なため、路肩に寄りすぎることなく作業ができ、転倒・滑落の危険も抑えられ安全性の向上に繋がっている。

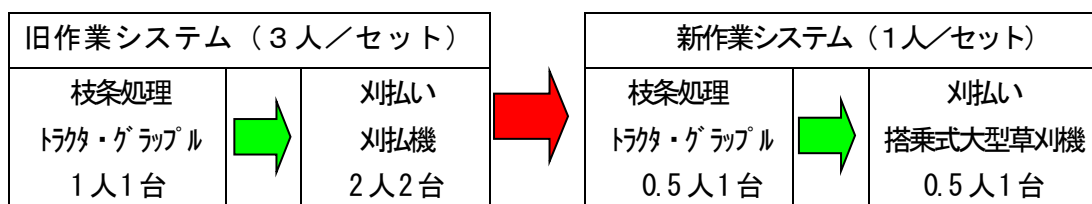
刈り刃はハンマーナイフ式であり、草類を巻き込み細かく粉砕することから、植え付けの作業効率が向上。

また、粉砕物により翌年の草本・ササ等の成長が抑えられることで、下刈り回数の低減に寄与している。

さらに、林道等、路網の草刈りでは粉砕物が堆積することで車両が走行しても路盤が傷みにくく、維持・管理コストの縮減にも繋がっている。

4. 具体的な内容

- ① 施業方法 : 地拵え、下刈り、林道等の草刈り
- ② 使用機械 : 搭乗式大型草刈機
- ③ 作業システム :



④ 効率性の比較

刈払い作業	刈払機	搭乗式大型草刈機
	113.8m ² /h	731.9m ² /h (約6.4倍)

旧作業システム（3名体制）から新作業システム（1名体制）に改善したことで、軽労化とコスト削減が図られた。

また、林道の草刈業務は委託を行っていたが、直営に切り替えたことで刈払い作業の効率が上がり時間が短縮され大幅なコスト削減となった。

さらに、数年間使用せず大型草本や灌木が繁茂した作業道も、この機械で1往復半ほど刈り払うことで道幅・走行路を確保でき、林分調査や山林巡視、間伐等の事業地へのアクセスが向上し乗用車両の破損等も減少した。

5. 今後の取組等

搭乗式大型草刈機による下刈作業では、伐根が障害物となり作業効率が大きく下がることから、伐根の除去を含めた地拵え作業の検討が必要である。

今後も搭乗式大型草刈機を有効かつ効率的に活用し、安全な作業の確保や町有林管理の軽労化とコスト縮減を図っていきたい。



【前生樹の伐根を避けながらの全刈り作業】



【地拵え作業】

【問い合わせ先】

所属：北海道オホーツク総合振興局東部森林室普及課

役職・氏名：主査（計画指導） 柳谷 成人

連絡先：0157-24-6278